

NEWS RELEASE (2006年11月17日)

医学部生命科学科(4年生課程)の設置について

概 要

九州大学医学部は、人間を対象とした次世代の生命科学領域の展開を担う新しいタイプの人材(生命医科学者、生命医工学者)を育成することを目標として、新しく「生命科学科」を設置します。

背 景

「生命の世紀」と言われる21世紀では、ヒトゲノムのDNA情報を基盤としたゲノム医科学のさらなる発展が期待される一方、ポストゲノム科学を始めとする先端生命科学研究の領域においては、バイオインフォマティクス、システム生物学を駆使した広範な研究が今後爆発的な展開をみせると予想されています。また、再生医療やナノテクノロジーを基盤とした診断・治療法、先端医工学を支えるロボティクス関連技術や生体工学等は急速に展開しています。したがって、この新領域に挑戦的に参画するためには、人を対象とする医学の知識に加えて、生命現象に関する分子レベルの理解や情報処理能力が不可欠であり、情報科学や工学領域との融合に機動性をもつ的確かつ柔軟に対処できる人材を育成しなければなりません。

内 容

従来の理学・農学分野における生命科学科とは教育研究上の対象を異にし、21世紀における人間科学としての医生命科学へ寄与するための教育を行います。基本的な医学知識、生命観や研究倫理を修得させるとともに、高年次において、分子細胞生物学、生体応答制御学(ゲノム医科学を含む)、生体情報機能学、先端医工学等に重点を置いた特徴的な4コースに設定された「研究法」等を含む選択科目から学習メニューを個別に作成させ、人を対象とした視点を有する専門職として自立・活躍するために必要な基礎的能力・態度を身につけさせるカリキュラム編成による教育を行います。さらに、国際的に活躍するために不可欠な英語教育を重視したカリキュラム編成により、科学論文の読解だけでなく、会話や学術講演を理解するためのコミュニケーション能力についても教育をします。

効 果

医学教育のコア部分の教育により人を対象とした人間科学としての医学の基本を学び、しっかりとした生命倫理・研究倫理観を有する学生を養成します。さらに、近年の生命科学関連領域における異なる分野間の融合や新たな科学技術の発展を踏まえ、これまでの医学部教育で行われてきた医学・医療に関する総合的な知識に加えて、生命科学関連の専門的な理解や情報処理能力、情報科学や工学領域との融合に的確かつ柔軟に対処できる能力を身につけ、将来的にこの分野で国際的にも広く活躍できる新しい人材（バイオメディカル・サイエンティスト/エンジニア）を育成します。

今後の展開

生命科学科では、医学教育コア・カリキュラムに沿った基盤教育を行うとともに、生命医科学分野に特徴的な柱となる分子細胞生物学、生体応答制御学（ゲノム医科学を含む）、生体情報機能学、先端医工学等に重点を置いた複数のコース設定を行うことにより、それぞれのコースを修了した学生は、医薬関連、バイオ関連、生体工学関連等の様々な企業の専門技術者、さらには医療や福祉関連分野の科学ジャーナリスト・科学評論家や行政における専門職業人・コーディネーターとして国際的にも幅広く活躍することが期待されます。さらに、大学院の課程に進学して研鑽を積むことにより、基礎医学を含む生命医科学領域の教育者・研究者として新領域を開拓し、次世代の人材育成に貢献することも期待されます。

【お問い合わせ先】

医学研究院教授 續 輝久

電話：092・642・6141

FAX：092・642・6145

Mail：tsuzuki@med.kyushu-u.ac.jp